

地方小委員会の概要と意見

| | |
|-------------------------------------|---|
| (1) 東北地方小委員会 | 1 |
| ・一般国道4号 北上花巻道路 | |
| ・一般国道106号 (宮古盛岡横断道路) 田鎖臺目道路 | |
| ・一般国道112号 山形中山道路 | |
| (2) 関東地方小委員会 | 2 |
| ・一般国道50号 協和バイパス | |
| ・一般国道4号 東埼玉道路 (八潮～松伏) | |
| (3) 北陸地方小委員会 | 3 |
| ・一般国道116号 吉田バイパス | |
| ・一般国道8号 (金沢外環状道路) 海側幹線 (今町～鞍月) | |
| (4) 中部地方小委員会 | 4 |
| ・一般国道153号 伊駒アルプスロード | |
| ・一般国道23号 鈴鹿四日市道路 | |
| (5) 近畿地方小委員会 | 5 |
| ・一般国道483号 (北近畿豊岡自動車道) 豊岡道路 (Ⅱ期) | |
| ・一般国道168号 (五條新宮道路) 十津川道路 (Ⅱ期) | |
| (6) 中国地方小委員会 | 6 |
| ・一般国道191号 (山陰自動車道) 益田西道路 | |
| ・一般国道180号 (岡山環状道路) 岡山西バイパス (西長瀬～楢津) | |
| ・一般国道188号 柳井・平生バイパス | |
| (7) 四国地方小委員会 | 7 |
| ・一般国道493号 (阿南安芸自動車道) 野根安倉道路 | |
| (8) 九州地方小委員会 | 8 |
| ・一般国道218号 (九州横断自動車道延岡線) 蘇陽五ヶ瀬道路 | |
| ・一般国道57号 (中九州横断道路) 大津熊本道路 (合志～熊本) | |

東北地方小委員会の概要と意見

令和2年度予算に向けた道路事業の新規事業採択時評価について、東北地方小委員会を持ち回り開催した結果を、以下のとおり社会資本整備審議会道路分科会に報告する。

令和2年3月12日

社会資本整備審議会道路分科会
東北地方小委員会委員長 浜岡 秀勝

□委員名簿

| 氏名 | 所属・役職 |
|-----------------------------|----------------------------------|
| おのざわ あきこ 小野澤 章子 | 岩手大学 人文社会科学部 准教授 |
| きくち あきら 菊池 輝 | 東北工業大学 大学院工学研究科 教授 |
| こばやし まさあき 小林 正明 | (一社) 東北経済連合会 専務理事 |
| たかひ のぶ 高樋 忍 | (公社) 青森観光コンベンション協会 理事 |
| ぬくい とおる 温井 亨 | 東北公益文科大学 教授 |
| 【委員長】 はまおか ひでかつ 浜岡 秀勝 | 秋田大学 理工学部 システムデザイン工学科 教授 |
| みやはら いくこ 宮原 育子 | 宮城学院女子大学 現代ビジネス学部 現代ビジネス学科 教授 |
| よしだ いつき 吉田 樹 | 福島大学 経済経営学類 准教授 |

□対象事業

- 一般国道4号 北上花巻道路
- 一般国道106号(宮古盛岡横断道路) 田鎖墓目道路
- 一般国道112号 山形中山道路

□議事概要

【一般国道4号 北上花巻道路】

- 現道周辺への企業進出により、交通負荷の増大が想定されるため、早急な整備が必要。

【一般国道106号(宮古盛岡横断道路) 田鎖墓目道路】

- 国の権限代行で進めるのであれば、地域の防災安全上、早急な整備が必要。
- 整備後の現道については、利用状況等も踏まえ、必要な対策を行うべきである。

【一般国道112号 山形中山道路】

- 市街地の縁辺部に整備されるため、交通機能が十分に確保される構造とすべきである。
- バイパスと現道の役割分担を図るために必要性が高いと考えられる。

□結論

- 一般国道4号 北上花巻道路
 - 一般国道106号(宮古盛岡横断道路) 田鎖墓目道路
 - 一般国道112号 山形中山道路
- の新規事業化については妥当である。

関東地方小委員会の概要と意見

令和2年度予算に向けた道路事業の新規事業採択時評価について、関東地方小委員会を持ち回り開催した結果を、以下のとおり社会資本整備審議会道路分科会に報告する。

令和 2年 3月 6日

社会資本整備審議会道路分科会
関東地方小委員会委員長 屋井 鉄雄

□委員名簿

| 氏名 | 所属・役職 |
|----------------------------|---------------------------------|
| 秋葉 正一 (あきば しょういち) | 日本大学生産工学部土木工学科教授 |
| 大下 茂 (おおしも しげる) | 帝京大学経済学部観光経営学科教授 |
| 鬼沢 良子 (きざわ りょうこ) | NPO法人 「持続可能な社会をつくる元気ネット」事務局長 |
| 久保田 尚 (くぼた ひさし) | 埼玉大学大学院理工学研究科教授 |
| 佐々木 淳 (ささき じゅん) | 東京大学大学院新領域創成科学研究科教授 |
| 谷口 綾子 (たにくち あやこ) | 筑波大学システム情報系教授 |
| 藤山 知加子 (ふじやま ちかこ) | 横浜国立大学大学院 都市イノベーション研究院准教授 |
| 二村 真理子 (ふたむら まりこ) | 東京女子大学現代教養学部国際社会学科教授 |
| 水野 創 (みずの はじめ) | 千葉県経済同友会副代表幹事 |
| 【委員長】 屋井 鉄雄 (やい てつお) | 東京工業大学副学長 |

(敬称略、五十音順)

□対象事業

- 一般国道4号 ひがしさいたま 東埼玉道路 (八潮～松伏)
- 一般国道50号 きょうわ 協和バイパス

□議事概要

- 事務局より、事業実施環境、事業概要、課題、効果等について説明。
- 各委員からいただいた意見を以下のとおり、とりまとめた。

【一般国道4号 ひがしさいたま 東埼玉道路 (八潮～松伏)】

- ・ストックやフロー効果の見込まれる事業であり、地域の利便性向上、大きな生産性向上効果が期待できる。
- ・また、防災性向上の観点から、機能性の高い道路の形成は、地域貢献度・安心度が大きいものと考えられ、妥当な計画である。
- ・周辺住民の理解を得られるよう、十分に構造の検討を行うとともに、事業化後の費用増加に留意されたい。
- ・事業効果を十分発揮するために、さらに事業化区間を延伸（松伏以北）することを期待する。また、渋滞解消は、CO2削減や地域産業の発展に寄与し、地域の賛同もあることから早期完成を期待する。

【一般国道50号 きょうわ 協和バイパス】

- ・交通容量の確保により混雑度の解消が期待され、ストックやフロー効果の見込まれる事業である。
- ・また、地域の利便性向上、道路ネットワーク充実による防災性向上の観点から、妥当な計画である。
- ・事業化後の費用増加に留意されたい。
- ・既に事業中の周辺道路と一体となってさらなる効果が発揮される。地域の賛同があり、地域特産品の付加価値向上のためにも、早期完成を期待する。

□結論

一般国道4号 ひがしさいたま 東埼玉道路 (八潮～松伏)
一般国道50号 きょうわ 協和バイパス
の新規事業化については妥当である。

北陸地方小委員会の概要と意見

令和2年度予算に向けた道路事業の新規事業採択時評価について、北陸地方小委員会を持ち回り開催した結果を、以下のとおり社会資本整備審議会道路分科会に報告する。

令和2年3月12日

社会資本整備審議会道路分科会
北陸地方小委員会委員長 佐野 可寸志

□委員名簿

| 氏名 | 所属・役職 |
|---------------------------|---|
| あきつき ゆうき 秋月 有紀 | 富山大学 人間発達科学部 教授 |
| さえき たつひこ 佐伯 竜彦 | 新潟大学 工学部 教授 |
| 【委員長】 さの かすし 佐野 可寸志 | 長岡技術科学大学 大学院 教授 |
| すみ えいじ 鷲見 英司 | 新潟大学 経済学部 准教授 |
| なかやま しょういちろう 中山 晶一郎 | 金沢大学 理工研究域 環境デザイン学系 教授 |
| ばばさき けいこ 馬場先 恵子 | 金沢学院大学 文学部 教授 |
| まるやま ゆか 丸山 結香 | (有) MAXZEN PerformanceConsultants 代表取締役 |
| やました よしのり 山下 義則 | 北陸経済連合会 専務理事 |

(敬称略、五十音順)

□対象事業

- 一般国道116号 吉田バイパス
- 一般国道8号(金沢外環状道路)海側幹線(今町～鞍月)

□議事概要

【一般国道116号 吉田バイパス】

【一般国道8号(金沢外環状道路) 海側幹線(今町～鞍月)】

- 冬期の速度低下だけでなく、時間価値に着目した便益算定も考えられるため、今後検討してほしい。

□結論

- 一般国道116号 吉田バイパス
- 一般国道8号(金沢外環状道路) 海側幹線(今町～鞍月)の新規事業化については妥当である。

中部地方小委員会の概要と意見

令和2年度予算に向けた道路事業の新規事業採択時評価について、中部地方小委員会を持ち回り開催した結果を、以下のとおり社会資本整備審議会道路分科会に報告する。

令和2年3月11日

社会資本整備審議会道路分科会
中部地方小委員会委員長 中村 英樹

□委員名簿

| 氏名 | 所属・役職 |
|----------------------------|--------------------------|
| いたや あけみ 板谷 明美 | 三重大学生物資源学研究所 准教授 |
| うちだ としひろ 内田 俊宏 | 中京大学経済学部 客員教授 |
| くらうち ふみだか 倉内 文孝 | 岐阜大学工学部社会基盤工学科 教授 |
| くりはら だいすけ 栗原 大介 | (一社) 中部経済連合会 常務理事 |
| さとう くみ 佐藤 久美 | 金城学院大学国際情報学部国際情報学科 教授 |
| たかぎ あきよし 高木 朗義 | 岐阜大学工学部社会基盤工学科 教授 |
| 【委員長】 なかむら ひでき 中村 英樹 | 名古屋大学大学院環境学研究所 教授 |
| みずお えり 水尾 衣里 | 名城大学人間学部人間学研究科 教授 |
| やまだ えり 山田 恵里 | 名古屋市立大学大学院経済学研究科・経済学部 講師 |

(敬称略、五十音順)

□対象事業

- 一般国道23号 すずか よっかいち 鈴鹿四日市道路
- 一般国道153号 いこま 伊駒アルプスロード

□議事概要

- 一般国道23号 すずか よっかいち 鈴鹿四日市道路

- 慢性的に渋滞が発生している国道23号の都市間交通を転換させるため、事業中の北勢バイパスと中勢道路をつなぐ鈴鹿四日市道路が必要である。
- 本事業により、現国道23号と北勢バイパスから中勢道路間のバイパスルートで、それぞれ地域に密着した交通と信頼性の高い都市間交通といった機能分担を図ることができ、より安全で効率的な道路ネットワークとなる。
- 北勢、中勢地域は、製造業が盛んであるにも関わらず、高速道路が内陸部にありアクセスが悪い地域のため、鈴鹿四日市道路は、高速道路アクセスとなる鈴鹿亀山道路と合わせて地域の骨格となる道路として必要である。
- 防災の観点では、現国道23号が津波浸水域を通過しているため、被災時の避難や復旧のためにも、早期整備が必要である。
- 他県へのアクセス向上を考慮すると、交通ネットワークの拡大により、三重県内の自動車産業だけでなく、成長が期待される航空宇宙産業の発展にも寄与することが期待される。

- 一般国道153号 いこま 伊駒アルプスロード

- 伊駒アルプスロードにより、単なる交通容量の増強だけではなく、並行する現国道153号との機能の差別化を明確に図ることが必要である。
- 本事業は、より通過交通を担う機能を重視すべきであり、平面交差点を極力減らすとともに、沿道との干渉ができるだけ少なくなるような構造とすることが必要である。
- 天竜川右岸に中央道と国道153号が位置し、現状、国道153号の渡河道路との交差点が渋滞箇所となっていることを踏まえると、左岸地域のアクセスとしても必要性が高い道路である。
- リニア開業効果を広域的に波及させるため、リニアに合わせた整備が必要。なお、観光効果が期待されるが、観光客増加に伴い新たな交通渋滞が懸念されるため、国道153号全体の渋滞状況を踏まえた全体の整備計画検討が必要。
- 中央道の通行止時の代替道路としての機能からも早期整備が必要である。

□結論

- 一般国道23号 すずか よっかいち 鈴鹿四日市道路、一般国道153号 いこま 伊駒アルプスロードの新規事業化については妥当である。

近畿地方小委員会の概要と意見

令和2年度予算に向けた道路事業の新規事業採択時評価について、近畿地方小委員会を持ち回り開催した結果を、以下のとおり社会資本整備審議会道路分科会に報告する。

令和2年 3月13日

社会資本整備審議会道路分科会
近畿地方小委員会委員長 山下 淳

□委員名簿

| 氏名 | 所属・役職 |
|---------------------------|--------------------------------------|
| いづか あつし 飯塚 敦 | 神戸大学 都市安全研究センター 教授 |
| うの のぶひろ 宇野 伸宏 | 京都大学大学院 工学研究科 教授 |
| うらお こ 浦尾 たか子 | 京南倉庫株式会社 常務取締役 |
| かわもと よしみ 川本 義海 | 福井大学 学術研究院工学系部門 教授 |
| こばやし きよし 小林 潔司 | 京都大学 名誉教授 京都大学経営管理大学院 特任教授 |
| たまおか 玉岡 かおる | 作家 大阪芸術大学大学院 教授、兵庫県教育委員 |
| まきむら ひさこ 槇村 久子 | 京都女子大学 宗教・文化研究所 客員研究員 |
| むねた よしふみ 宗田 好史 | 京都府立大学 副学長・和食文化研究センター長 ・生命環境学部 教授 |
| 【委員長】 やました あつし 山下 淳 | 関西学院大学 法学部 教授 |

□対象事業

- 一般国道483号（北近畿豊岡自動車道）豊岡道路（Ⅱ期）
- 一般国道168号（五條新宮道路）十津川道路（Ⅱ期）

□議事概要（各委員からの意見）

【一般国道483号（北近畿豊岡自動車道）豊岡道路（Ⅱ期）】

- 災害が多発する近年、過去に浸水した区域を回避し、災害時にも機能する強靱な道路ネットワークの整備は、防災・減災の観点からも意義が大きい。
- 地域の災害拠点病院である豊岡病院へのアクセス強化は、緊急時の適切な医療提供の観点から重要。
- 但馬地域の観光、産業等の観点において、北近畿自動車道の整備による京阪神大都市圏等とのアクセス性の向上の効果は大きく、ネットワーク全体での評価が必要。

【一般国道168号（五條新宮道路）十津川道路（Ⅱ期）】

- この地域は大規模災害が多い地域であり、災害時の孤立化の懸念も考えれば、この地域唯一の幹線道路として整備が必要。また、南海トラフ巨大地震も想定した場合、紀伊半島沿岸部へのアクセスルートともなり、災害時の広域的なネットワークの観点からも重要。
- 周遊性の高いネットワーク整備により、インバウンド観光客の増加など地域の観光経済効果が期待される。

□結論

- 一般国道483号（北近畿豊岡自動車道）豊岡道路（Ⅱ期）
 - 一般国道168号（五條新宮道路）十津川道路（Ⅱ期）
- の新規事業化については妥当である。

中国地方小委員会の概要と意見

令和2年度予算に向けた道路事業の新規事業採択時評価について、中国地方小委員会を持ち回り開催した結果を、以下のとおり社会資本整備審議会道路分科会に報告する。

令和 2年 3月13日

社会資本整備審議会道路分科会
中国地方小委員会委員長 藤原 章正

□委員名簿

| 氏名 | 所属・役職 |
|-----------------------------|-----------------------------|
| いいの 飯野 公央 きみお | 島根大学法文学部 准教授 |
| うちやま 内山 誠一 せいいち | 中国経済連合会 専務理事 |
| こいけ 小池 淳司 あつし | 神戸大学大学院 工学研究科 教授 |
| すずき 鈴木 春菜 はるな | 山口大学大学院 理工学研究科 准教授 |
| はしもと 橋本 成仁 せいじ | 岡山大学大学院 環境生命科学研究科 准教授 |
| ふくだ 福田 京子 きょうこ | 地域づくりネットワーク 代表 |
| 【委員長】 ふじわら 藤原 章正 あきまさ | 広島大学大学院 国際協力研究科 教授 |
| やまだ 山田 知子 ともこ | 比治山大学現代文化学部マスコミュニケーション学科 教授 |

(敬称略、五十音順)

□対象事業

- ・一般国道191号（山陰自動車道）益田西道路
- ・一般国道180号（岡山環状道路）岡山西バイパス（西長瀬～榑津）
- ・一般国道188号柳井・平生バイパス

□議事概要（各委員からの意見）

【一般国道191号（山陰自動車道）益田西道路】

- ・山陰道の個別事業の評価を一連の効果を発揮するネットワークで行うことは妥当である。

【一般国道180号（岡山環状道路）岡山西バイパス（西長瀬～榑津）】

- ・特筆事項なし。

【一般国道188号柳井・平生バイパス】

- ・当事業は沿線だけでなく、山口県西部の道路ネットワークの強化に資する重要な事業であり、主要3便益以外にも当該地域にとって小さくない便益があると考ええる。

【全般事項】

- ・事業の実施にあたっては、小委員会における審議内容を適切に反映されたい。
- ・なぜこの事業が次年度新規事業となるのかその考え方を明確にすべき。

□結論

- ・一般国道191号（山陰自動車道）益田西道路
- ・一般国道180号（岡山環状道路）岡山西バイパス（西長瀬～榑津）
- ・一般国道188号柳井・平生バイパス

の新規事業化については妥当である。

四国地方小委員会の概要と意見

令和2年度予算に向けた道路事業の新規事業採択時評価について、四国地方小委員会を持ち回り開催した結果を、以下のとおり社会資本整備審議会道路分科会に報告する。

令和 2年 3月11日

社会資本整備審議会道路分科会
四国地方小委員会委員長 山中 英生

□委員名簿

| 氏名 | 所属・役職 |
|----------------------------|---------------------------|
| くらうち しんや 倉内 慎也 | 愛媛大学大学院理工学研究科生産環境工学専攻 准教授 |
| こんどう あまこ 近藤 明子 | 四国大学経営情報学部メディア情報学科 准教授 |
| の のむら あつこ 野々村 敦子 | 香川大学創造工学部創造工学科 准教授 |
| はたけなか ともこ 畠中 智子 | 高知のまちづくりを考える会 代表 |
| はとり つよし 羽鳥 剛史 | 愛媛大学社会共創学部環境デザイン学科 准教授 |
| みよし しゅんさく 三好 俊作 | 四国経済連合会 専務理事 |
| 【委員長】 やまなか ひでお 山中 英生 | 徳島大学大学院社会産業理工学研究部 教授 |
| わたなべ つねみ 渡邊 法美 | 高知工科大学経済・マネジメント学群 学群長 教授 |

(敬称略、五十音順)

□対象事業

- 一般国道493号（阿南安芸自動車道）野根安倉道路

□議事概要

○事務局より、事業実施環境、事業概要、課題、効果等について説明。

○各委員から下記の意見があった。

- B/Cの値は低くても、地域にとっては「命の道」であり、日常的にあった落石がなくなったり、救命救急車両の到達時間が短縮されるなど、その効果は大きく、地域の存続に必要不可欠。
- 整備効果は決して「ゆず」だけに留まらず、また、その波及地域も田野町や安田町、安芸市等にも広く及ぶと考える。
- 本区間は四国8の字ネットワークの一部であるので、ネットワークとしての道路の必要性や整備効果について、継続的に説明していく必要がある。
- 本区間の早期整備並びに、ネットワーク効果を高めるためにも、他の未事業化区間、特に隣接する区間を早期事業化すべき。
- 防災に関する評価指標については、評価手法の改善を地方から提案していく必要があるのではないか。
- 当該地域は地質が脆弱であり、事業者の責務として、地質リスクへの積極的な取り組みが求められる。
- 一般道でもあることから、広域物流と地域の生活交通が両立できる様に、安全性の確保に十分注意を払って整備する必要がある。
- 四国8の字ネットワークとしての重要性を鑑み、近い将来、自動運転車両や接続トラック等に関する構造基準などが設定された際にも対応できるようにして頂きたい。
- 現道沿いの住民の利便性が低下しない様に配慮頂きたい。

□結論

一般国道493号（阿南安芸自動車道）野根安倉道路の新規事業化については妥当である。

九州地方小委員会の概要と意見

令和2年度予算に向けた道路事業の新規事業採択時評価について、九州地方小委員会を持ち回り開催した結果を、以下のとおり社会資本整備審議会道路分科会に報告する。

令和2年3月13日

社会資本整備審議会道路分科会
九州地方小委員会委員長 辰巳 浩

□委員名簿

| 氏名 | 所属・役職 |
|--------------------------|-----------------------------|
| いけうち ひろこ 池内 比呂子 | (株) テノ. ホールディングス 代表取締役社長 |
| おおえだ よしなお 大枝 良直 | 九州大学大学院 工学研究院 准教授 |
| かさい ひろし 河西 宏 | 長崎都市経営戦略推進会議 推進役 |
| くわの いずみ 桑野 和泉 | (一社) 由布市まちづくり観光局 代表理事 |
| ささかわ みちこ 笹川 理子 | 弁護士法人 笹川法律事務所 弁護士 |
| しまもと ひろし 嶋本 寛 | 宮崎大学 工学部 社会環境システム工学科 准教授 |
| 【委員長】 たつみ ひろし 辰巳 浩 | 福岡大学 工学部 社会デザイン工学科 教授 |
| とだ じゅんいちろう 戸田 順一郎 | 佐賀大学 経済学部 准教授 |
| まるやま たくや 円山 琢也 | 熊本大学 くまもと水循環・減災研究教育センター 准教授 |
| よしだ 吉田 まりえ | 九州の暮らし創造研究所 代表 |

□対象事業

- 一般国道218号(九州横断自動車道延岡線) 蘇陽五ヶ瀬道路
- 一般国道57号(中九州横断道路) 大津熊本道路(合志～熊本)

□議事概要

【一般国道218号(九州横断自動車道延岡線) 蘇陽五ヶ瀬道路】

- 各委員から下記の意見があった。
 - 一般国道218号は、災害時における代替機能を確保する観点からも、今回の評価区間の必要性は高い。
 - 残る区間についても、ネットワークや物流の観点からは早期に整備する必要がある。

【一般国道57号(中九州横断道路) 大津熊本道路(合志～熊本)】

- 各委員から下記の意見があった。
 - 当該区間のB/Cは0.8となっているが、広域ネットワーク整備の観点より、一体評価B/C 1.4が重要であり、早期整備が望ましい。
 - 工業団地の立地スピードと道路整備のスピードを合わせる必要があり、早期整備の観点から有料道路事業の活用を検討は重要である。
 - 国道325号までの残る区間についても、ネットワークや物流の観点からは早期に整備する必要がある。

□結論

一般国道218号(九州横断自動車道延岡線) 蘇陽五ヶ瀬道路
一般国道57号(中九州横断道路) 大津熊本道路(合志～熊本)
の新規事業化については妥当である。